（一社）鳥取中部観光推進機構

鳥取中部ＤＭＯ活動報告（令和７年度）

１．鳥取中部が目指す観光地域づくり

本圏域には、三朝温泉のラドン泉、日本海の海産物、鳥取和牛、倉吉白壁土蔵群に代表される歴史・文化、多様な自然環境など、豊かな地域資源があります。これらの魅力を活かし、「食と温泉による癒し」を核とした回復型観光地として、訪れる人が心身を整え、日常の活力を取り戻せる観光地域を目指します。

観光を単なる集客にとどめず、地域資源の価値を高め、地域内での消費と経済循環を生み出す持続可能な産業として育てていきます。三朝温泉を核に、食・自然・歴史・文化などを組み合わせた滞在型・高付加価値型の観光を推進し、地域経済の持続的な成長と、住民の誇りや豊かさにつながる観光地づくりを進めます。

２．観光戦略とターゲット

鳥取中部が有する温泉、食、自然、歴史・文化、マンガ・アニメ等の多様な地域資源を個別に活用するだけでなく、これらを組み合わせることで、地域内の滞在・周遊を促し、鳥取中部ならではの観光価値の向上を図ります。特に「食と温泉による癒し」を核として、自然、歴史・文化等を組み合わせ、地域をゆっくり巡りながら心身を整え、日常の活力を取り戻す「回復の旅」を推進します。

ターゲットとして、海外は台湾・香港を中心とした東アジア市場、国内はシニア層とコナン・まんが等に関心を持つ若年女性層を設定し、それぞれのニーズを踏まえた観光コンテンツの造成・磨き上げと、旅行会社、Web・SNS 等を活用したプロモーションを進めます。海外市場では、フルーツ、カニ、鳥取和牛等の食、温泉、青山剛昌ふるさと館等の地域資源を組み合わせた周遊・滞在型コンテンツを発信し、国内市場では、温泉、自然、食、歴史・文化等を活用した、ゆったりと過ごせる「癒しの旅」の充実を図ります。

３．鳥取中部の観光の現状・KGI/KPI 達成状況

国内観光客は中高年層が中心で、約 6～7 割を女性が占めており、団体旅行と個人旅行の双方がみられます。インバウンドは、韓国、香港、台湾、中国からの入込が増加傾向にあり、小グループ・個人旅行への移行が進んでいます。

区域内には、三朝温泉、はわい温泉、東郷温泉、関金温泉をはじめ、日本遺産、重要伝統的建造物群保存地区、農水産物・果実等の食、牛骨ラーメンなどのご当地グルメ、名探偵コナン等のアニメ・コンテンツ、グラウンド・ゴルフ、ウォーキング、スポーツクライミング等、多様な観光資源があります。これらを活用し、体験・滞在型商品の造成・販売に取り組んでいます。

宿泊施設は、構成団体加盟施設で 55 軒、約 1,500 室、約 5,500 人の収容力を有しています。

交通・受入環境については、インバウンド誘客に向け、FAM ツアーや圏域内バスツアーの企画、受入環境の整備、通訳案内士の活用、国内外の旅行会社へのセールス等に取り組んでいます。

KGI/KPI		実績		目標	
		2024 年｜R6	2025 年｜R7	2026 年｜R8	2027 年｜R9
一人あたり旅行消費額【円】	全体	45,860	22,758	23,213	23,677
	インバウンド	－	－	－	－
延べ宿泊者数【千人】	全体	533	541	567	594
	インバウンド	22	26	35	46
来訪者満足度【％】		62.5	96.2	95.0	95.0
リピーター率【％】		89.3	56.5	57.0	57.5

※アンケートは令和７年度（令和７年４月～令和８年３月）に実施した 3,074 件の回答、宿泊施設データ及び入込客数は令和７年（1 月～12 月）の実績を基に算出しています。
※令和６年度と令和７年度の一人当たり旅行消費額の差については、令和７年度から算出方法を見直したことによるものです。

４．活動内容と成果

①マーケティング（プロモーション）

台湾、韓国、香港を対象に、現地旅行会社へのセールスプロモーションを実施し、鳥取中部の観光資源や旅行商品の PR を行いました。また、大阪・関西万博への出展やアンケート調査を通じて、観光客のニーズや認知度の把握に取り組みました。その結果、海外市場における旅行会社との関係構築や市場動向の把握が進み、今後の商品造成や誘客施策に活用できる基礎データを得ることができました。今後もターゲット市場への継続的なプロモーションと旅行会社との連携強化を進め、鳥取中部を組み込んだ旅行商品の造成・販売促進を図ります。

②商品造成

三朝温泉の地域資源を活用し、「現代湯治」をテーマとした滞在型観光プログラムを造成しました。鉱泥湿布、ラドン熱気浴、湯食健身などを組み合わせ、温泉・健康・食を一体的に体験できる商品として磨き上げを行いました。また、国内外のモニターによる体験評価を実施し、利用者の視点を取り入れた内容の改善につなげました。

③受入環境

多言語ホームページの更新や情報発信を行うとともに、観光事業者向けの接客マナー研修やインバウンド対応研修を開催し、観光客の受入体制の強化を図りました。また、レンタサイクル事業を通じて、観光客の周遊促進にも取り組みました。今後も多言語対応や接客品質の向上を継続し、観光客の満足度向上を目指します。

④観光 DX 等

地域 OTA（**オンライン・トラベル・エージェント**）サイトの運用を開始し、宿泊施設や観光体験商品の予約受付、顧客情報の蓄積・管理を行う仕組みを整備しました。また、宿泊予約に伴い収受する手数料の一部を活用し、宿泊者に地域で楽しめる体験プランをプレゼントする仕組みを導入することで、地域内での経済循環と観光消費の拡大を図っています。

また、万博来場者アンケート、台湾市場向けデジタルアンケート調査、レンタサイクル利用実態調査等を実施し、観光客の属性やニーズ、行動特性に関するデータの収集を進めました。収集したデータは、今後のマーケティング施策や観光商品の改善、受入環境の整備に活用していきます。

５．地域の皆様へのお願い・意見募集

鳥取中部の観光振興をより良いものとしていくため、地域の皆様からのご意見やご提案をお寄せください。

「こんな観光に取り組んでほしい」「地域の魅力をもっと発信してほしい」「観光客の受入れについて改善してほしい」など、観光に関するお気づきの点やアイデアをお聞かせください。

いただいたご意見は、今後の観光施策や事業の検討・改善に活用していきます。

【ご意見・ご提案】　（一社）鳥取中部観光推進機構　info-kokusai@nashinohana.com